

項番	議題	主なご意見	対応方針
1	資料3 府中市の概況と地球温暖化に関する環境現況	10ページの「府中市の地球温暖化に関する環境現況」で東京都の気温の変化のみ掲載されており、府中市の気温の変化が掲載されていない。府中市の情報も掲載すべきである。	府中市のデータも追記いたしました。
2		電力排出係数は基礎排出係数と調整後の排出係数があり、どちらを採用しているかが目標の達成に関しても重要なポイントとなる。今後どちらを採用していくのかという議論も必要になるのではないかと。	どちらの排出係数を使用するかにつきましては、今後目標設定等の中で検討させていただきます。
3		計画策定において、2030年を意識する必要がある。バックキャストでどれだけ削減が必要なのか示すことで、意識付けする必要があるのではないかと。	今後、温室効果ガスや二酸化炭素削減の目標の設定を行う際に、対応いたします。
4		他市との比較で、例えば24ページの米印の表2.7の「赤字はゼロカーボンシティ表明自治体」とあるが赤字となっていない。また、他市との比較の評価については今後行うという認識で良いかと。	赤字になっていない部分は、修正いたしました。また、他市との比較については今後追補してまいります。
5		府中市はゼロカーボンシティの宣言をする予定はあるのか。	環境部門だけでなく、市全体の方針に関わりますので、内部で検討させていただきます。
6		12ページの「2.2温室効果ガス排出量」のすぐ下に書いてある文章の主語と述語が対応していない。	修正いたしました。
7		P12 HFCsの割合が増えている。代替フロンへの対応を考えておく必要があるのではないかと。	ノンフロン・低GWP(地球温暖化係数)冷媒の普及や代替フロンの排出抑制が必要になると考えております。
8		府中市自体がどの程度省エネに取り組んでいるかを「府中市エコレポート」で報告している数値を引用して示すべきである。	追記いたしました。
9		4ページに総人口が263,499人とあるが、住民票台帳の数字とも違うし、国勢調査の数字とも違うため、確認してもらいたい。	府中市統計書の中で、記載がされております。
10		和暦と西暦を統一してもらいたい。	記載のルールを設け統一いたします。
11		府中市と産業構造が似ている自治体との比較も行ってもらいたい。	追記いたしました。
12	アンケート調査(案)について	回収率を上げるため、対象年齢を下げ小中学生も対象としてはどうか。授業でも環境学習を取り入れており、関心を持っている。また、子供が関心を持つことで親も関心を持つのではないかと。学校に協力してもらえれば、回収率が上がるのではないかと。	小中学生向けのアンケートについて、実施する方向で検討を進めております。
13		子供のプライバシーに留意する必要がある。	
14		例えば中学校などで配布した場合、回収だけは府中市に直接郵送できるようにする担保が必要となるのではないかと。	
15		意識付けを目的とするアンケートも小学生とか中学生向けとか高校生向けに作成し、普及啓発活動の一端にしたら良いのではないかと。	
16		回収率を上げる方法として、QRコードやグーグルフォーム等の活用も検討すべきである。	QRコードやマイクロソフトフォーム等の活用を検討しております。
17		アンケートの実施方法として、単にペーパーだけではなく、ラインやYouTubeを使う等幾つかあるのではないかと。	
18		意識付けにつかうのか、それとも意見を計画策定に反映させるのか、アンケートの位置づけについて明らかにする必要がある。	アンケートの内容につきましては、第1回審議会でのご意見等を踏まえ、次期計画の方向性をお伺いするような設問を検討しております。また、計画の中間見直し時にも、アンケートを行うことを想定してまいります。また、アンケートの内容についても、ボリュームを絞って、回答時間がさほどかからないものとしたいと考えております。
19		アンケートは今回1度限りのものとするのか、5年後にも行うことを想定しているのか。後者ならアンケートは次回も使用できる内容とする必要がある。	
20		アンケートをすること自体に反対。その分計画の内容を詰めたほうが良い。	
21		このアンケートの大きな意味は市民が環境に対する意識を高めることであると思うので、分かりやすく、答えやすいことが一番のポイントと思う。	
22		基本的な意識調査という内容になっているように思うが、府中市がなりたいたい姿というものがある、それに対して計画を定めるため、優先すべき政策とか方向性についても質問したほうが良いのではないかと。	
23		実際に回答したが、労力のわりには使える回答が少ないのではないかと感じた。	
24		実際に3パターン全てに回答し、どれが良いか検討した方が良い。	
25		アンケートの設問について本当に必要かどうかもう一度吟味して、なるべく短くして負担を減らす工夫をしたほうが良いのではないかと。	